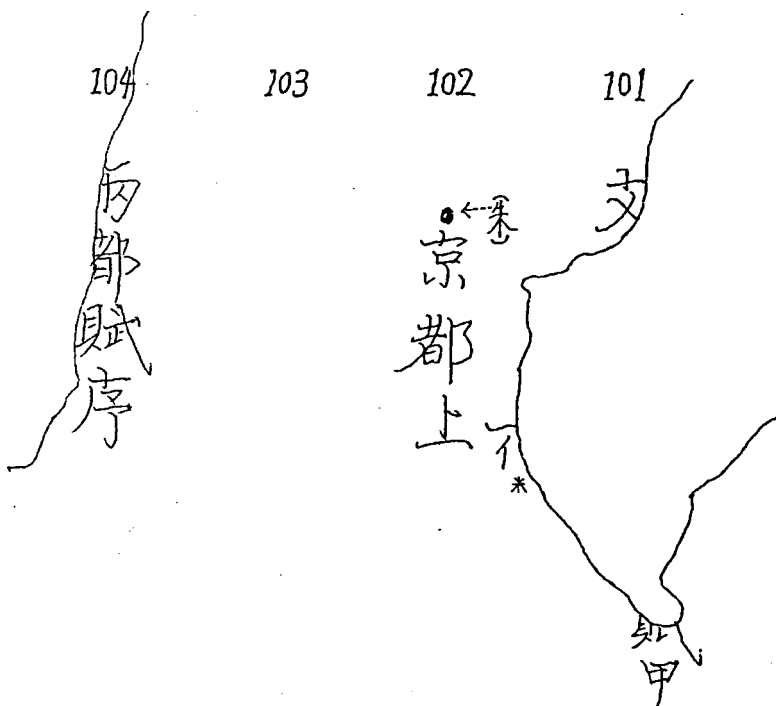


猿投神社藏正安本文選 (二)

小林芳規

*複製に際しての約束は前稿解題参照。
101 S 104の四行は前稿と重複させた。



班孟堅イ元**兩都賦二首并序
*「イ」は朱
**「イ元」朱

張平子イ元***西京賦一首
***「イ元」朱

班孟堅

104

103

102

101

有古詩之流也昔成康没而

60 (三ノ三三〇)

為全故稱爲不暇檢言不暇檢言不暇檢言

頌イノ書イノ 澤竭而詩不作大漠初定

李園白馬程目誤玉并為添作編其別多或為竭作也

可勘定

*印の合符は墨以下同。

日不暇給至於武宣之世乃崇禮イノ書イノ

イノアキガハ

イノイ (朱注)

考文章内設金馬石渠之署外興樂イノ書イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

事以興廢繼絶イノ書イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

悦豫福應尤盛イノ書イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

芝房寶斲之歌薦於郊イノ書イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

イノ

*イノイノ漢字

112 甘露カモロ黃龍ワウリウ之瑞シ以為ニ年紀キヤウ故コト言語コトバ待マツ

113 從シラウ之臣シム若ニ司馬シ相サウ如ニ虞ニ立キウ壽シウ王ワウ東方トウ

114 褒ホウ劉リウ向キョウ之シ屬シ朝チウ夕シキ論ロン德トク日ニチ

115 月グヱツ公コウ卿キョウ太タイ臣シム御キヨ史シ太フノ夫フノ兒コ寬カン

116 太トウ常チウ孔コウ威イ太フノ中チュウ夫フノ董トウ仲チュウ舒シヨ忠シュウ心シン劉リウ

117 德トク太フノ子シ太フノ傳フン蕭セウ望ハウ之シ等トウ時トキ問モン作サツ或シ

118 以ニ抒シ下ゲ情セイ而シテ通トウ諷フウ諭ユ或シ以ニ宣ケン上ジョウ德トク而シテ論ロン

*印不台符は墨以下同。

*右方台符、墨。

*右方台符、墨、濁音表示。

119

容・揄揚著於後嗣，抑亦雅道（不）。

120

頌之也。故孝成之世，論而錄之，蓋

ロヒテ

*印の合符は墨
*右の合符は墨
*「子」は朱
*「子」去した点にもに朱

121

奏御者，予有餘篇而後，大漢之文章，然

122

炳為與三代同風，且夫道有夷隆，學

123

有於密，同時而建德者，不以遠近易

124

可虞，粟斯頌，魯同見，采於採

125

孔氏列于詩書，其義一也，稽之上古，司馬相如

臣大公子
威作故頌以美
以美風孔安子術
采而列也古近之
曰維同自言感

62 (三ノ三三二)

「」は中損

寺雖微猶然
先臣早陶禮
然國承茲明
美不有潤也
迂自便又
期廷用俗同予

126 則如彼者之漢宗文如此斯事雖網室

127 然先臣之舊式國家之遺美不可闕

128 海内清平朝廷無事京師



129 城隍起苑圃以備制度西

130 出者老減懷怨患與上之睽願而感

131 稱長安舊制有陋雒邑之義故臣作議

132 兩都之賦以極衆人之所眩曜折以

陸曰謂史都
今未決論云
曰舊也

*印の金符は墨堂。以下同
*「フナリ」のラト点墨堂

***「六又」朱

***「フナリ」のラト
点、墨堂

呂尚曰洛陽城也主度高宗曰

直下多作違

決且違又

陸云先長安三年

決之右又
サ名ニ

詞曰
不三作梓

咸稱遂度以折之也 師說云抑提也 煇注云音難折也 彼此可存之

西都賦一首

呂近曰西都賦主以相向春時漢云都洛陽故東稱主西稱夏

*印の合符墨

有西都賓問於東都主人曰蓋聞皇皇
トセト云 曰蓋聞皇皇
トセト云 曰蓋聞皇皇
トセト云 曰蓋聞皇皇

鈔皇天(復)位者任度也 常言也 何謂東河洛也

漢之初經營也嘗有意乎都河洛矣
ハカシ 嘗有意乎都河洛矣
ハカシ 嘗有意乎都河洛矣
ハカシ 嘗有意乎都河洛矣

東用西遷作我上都主人
トセト云 東用西遷作我上都主人
トセト云 東用西遷作我上都主人
トセト云 東用西遷作我上都主人

其制乎主人曰未也願
トセト云 其制乎主人曰未也願
トセト云 其制乎主人曰未也願
トセト云 其制乎主人曰未也願

師說舊字 139

者異本也狀 冥摠懷舊之蓄念發思古之幽情博
トセト云 者異本也狀 冥摠懷舊之蓄念發思古之幽情博
トセト云 者異本也狀 冥摠懷舊之蓄念發思古之幽情博
トセト云 者異本也狀 冥摠懷舊之蓄念發思古之幽情博

140 我以皇道弘我漢京賓曰唯井漢井ヒテ

是己ミテ之西都トハ在リ于雍州寔曰長安左據ハ函カ

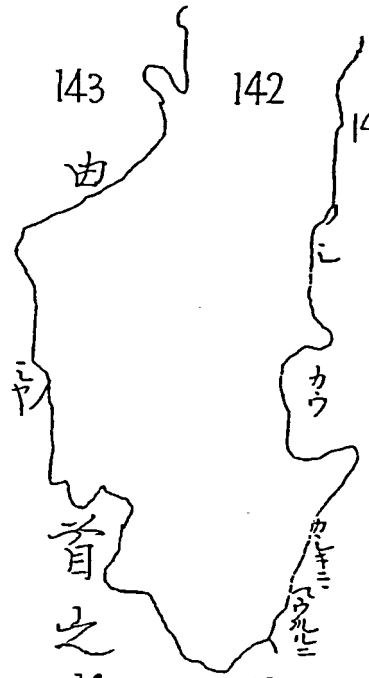
142 以太華終南之山右

143 由首之險帶以洪河涇渭之

144 川華貴之毛則九州之上腴為防多御多示多艘多艘多

145 之阻則天地之隩區為是故橫被多子多

146 谷三成帝畿周以龍興秦以虎視及多



*印の合符、墨

147

都之也仰晤東井之

世系下アワエテ

不音是也 66 (三ノ三三)

148

精研之靈奉春建榮留侯演

妻教也

*印入合符星堂

149

成天人合應以發皇明乃春西顧寔

カリミラ

150

惟作京於是晞米出領賊北早挾豐瀾

云胡路交

151

又於億載度宏規而火

スキニ

152

終守世增歸以崇麗靡而

世此本六毛可休神況

名トラフ

153

十二之延祚故窮泰而極後建金城

云ソシ

キク

ナカル

キム

キセイラ

154 之（ホ）万（ホ）雉（ホ）呀（ホ）周（ホ）池（ホ）而（ホ）成（ホ）湖（ホ）披（ホ）三（ホ）條（ホ）之（ホ）廣（ホ）り
（ホ） *印の合持は墨堂

155 路（ホ）立（ホ）十二（ホ）之（ホ）通（ホ）門（ホ）内（ホ）則（ホ）街（ホ）衢（ホ）洞（ホ）達（ホ）閭（ホ）
（ホ） *「洞」の「洞」は「洞」

156 開（ホ）場（ホ）貨（ホ）別（ホ）隧（ホ）分（ホ）人（ホ）不（ホ）得（ホ）
（ホ） *「分」の「分」は「分」
（ホ） *「人」の「人」は「人」

157 顧（ホ）車（ホ）不（ホ）得（ホ）旋（ホ）闕（ホ）城（ホ）溢（ホ）郭（ホ）傍（ホ）流（ホ）百（ホ）壘（ホ）紉（ホ）纏（ホ）
（ホ） *「紉」の「紉」は「紉」

158 塵（ホ）四（ホ）合（ホ）煙（ホ）雲（ホ）相（ホ）連（ホ）於（ホ）是（ホ）既（ホ）廢（ホ）且（ホ）富（ホ）娛（ホ）
（ホ） *「富」の「富」は「富」

159 樂（ホ）無（ホ）疆（ホ）都（ホ）人（ホ）士（ホ）女（ホ）殊（ホ）異（ホ）乎（ホ）五（ホ）方（ホ）遊（ホ）士（ホ）
（ホ） *「遊」の「遊」は「遊」

160 定（ホ）侯（ホ）列（ホ）女（ホ）侈（ホ）姬（ホ）姜（ホ）御（ホ）曲（ホ）豪（ホ）梁（ホ）遊（ホ）攀（ホ）
（ホ） *「攀」の「攀」は「攀」

67 (三ノ三ノ三ノク)

161

原（墨）當名（墨）亞（墨）春陵（墨）連（墨）史（墨）合（墨）

162

馳（墨）衆（墨）駿（墨）駘（墨）馬（墨）乎（墨）其（墨）中（墨）若（墨）乃（墨）觀（墨）其（墨）四（墨）郊（墨）浮（墨）遊（墨）

163

近（墨）縣（墨）則（墨）南（墨）望（墨）柱（墨）霜（墨）北（墨）眺（墨）五（墨）陵（墨）名（墨）都（墨）對（墨）

164

鄭（墨）邑（墨）塔（墨）相（墨）議（墨）英（墨）俊（墨）之（墨）域（墨）綏（墨）冕（墨）所（墨）與（墨）冠（墨）

165

五（墨）分（墨）與（墨）乎（墨）州（墨）郡（墨）之（墨）豪（墨）傑（墨）

166

三（墨）選（墨）七（墨）遷（墨）允（墨）奉（墨）陵（墨）邑（墨）蓋（墨）

167

以（墨）強（墨）幹（墨）弱（墨）枝（墨）隆（墨）上（墨）都（墨）而（墨）觀（墨）萬（墨）國（墨）也（墨）對（墨）

68 (三ノ三三)

*「ツ介」の「」は声点。墨。

*印合符、墨

三ノ三

168 畿之内厥生千里遠躒諸夏與其所

*印の念符是

169 有アルハ陽ヒト則ヒト崇山タカハ隱天カクテ幽林ヒト穹谷ヒト陸海ヒト

170 美玉ヒト商洛ヒト緣其隈ヒト鄂杜ヒト濱ヒト緑ヒト

171 其ヒト源泉ヒト灌注ヒト陂池ヒト奕厲ヒト竹林ヒト菓園ヒト

172 芳草ヒト甘木ヒト郊野ヒト之ヒト属号ヒト為ヒト近蜀ヒト其陰ヒト

173 則冠ヒト以ヒト九ヒト暖陪ヒト以ヒト甘泉ヒト乃有ヒト靈宮ヒト起ヒト

174 侯之所極ヒト觀ヒト澗雲ヒト之所ヒト頌ヒト

69 (三ノ三三九)

嘆名 歎名 歎於是存焉下有鄭自之沃衣食
 70 (三ノ三40)
 *印の合符、異陸
 以下同

176 之源提封五萬疆場綺分海陸刻鏤場
ミモトウ オイ 五萬 疆場 綺 分海陸 刻鏤 場

177 原隰龍鱗決渠降雨荷亟成雲五穀
セハ レウノ イロク ハ ニ シ ニ ニ ニ ニ ニ

178 林鋪茶東郊則有通海大漕
カシ サウ ハ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ

179 山東控引淮湖与海
山東 控引 淮湖 与海

180 西郊則有上林禁苑林麓澤數
西郊 則有 上林 禁苑 林麓 澤數

181 陂池連乎蜀漢繚以周廬四百餘里墻
陂池 連乎 蜀漢 繚以 周廬 四百餘里 墻

70 (三ノ三40)

*印の合符、異陸
以下同

離宮^{リキウ} 別館^{ベツカン} 卅^{サウ} 六^{ロク} 所^{シヨ} 神池^{シムチ} 靈^{レイ} 治^{セウ} 往^{トウ} 之^ニ 而^ニ

有^{アリ} 九^ク 真^{シム} 之^ニ 麟^{リン} 大^{ダイ} 宛^{エン} 之^ニ 馬^バ 黃^{ワウ}

鳥^{トウ} 踰^ユ 崑^{クン} 崙^{ロン} 越^{ユエ} 巨^{キョウ} 海^{カイ} 殊^{シュ}

有^{カダリ} 異^イ 類^{レイ} 三^{サン} 萬^{マン} 里^リ 其^キ 宮^{キウ} 室^{シツ} 也^ヤ 體^{タイ} 象^{シヤウ} 乎^フ

天^{テン} 地^ヂ 經^{キヤウ} 緯^{レイ} 乎^フ 陰^{イン} 陽^{ヤウ} 據^コ 坤^{コン} 靈^{レイ} 之^ニ 正^{テイ} 位^{レイ} 放^フ

圓^{エン} 方^フ 樹^{ジュ} 中^{チュウ} 天^{テン} 之^ニ 華^カ 闕^{ケツ} 豐^{フヤウ} 冠^{クワン} 山^{サン} 夫^フ

而^ニ 兇^{キウ} 奇^キ 抗^{カウ} 應^{エイ} 龍^{リウ} 之^ニ 軀^キ

*印の合符は墨

71 (三ノ34ノ)

189 列禁榛以布翼荷棟椽而高驤殿雕

190 以居楹裁金壁以飾璫發五色

191 以景敦於是左城右

192 閤房周通門闕洞開列

193 遊立余入於端闈仍增佳

194 而衡闕臨峻路而啓扉夠以離宮別

195 覆承以豐開館煥若列宿紫堂是

*開未上字
由誤不明。

*印の合符は墨

196

日^ヒ海^シ・神^{シム}仙^セ・長^{キム}年^ム・金^{オム}華^ク・玉^{キョク}堂^ク・白^{ヒヤク}

「印」合符に在

197

若^シ茲^{カク}不^{ラス}可^カ彈^{モス}論^ク・增^{カチリ}盤^{カサヒ}・岩^{トカサリ}・嶽^{シカク}

198

鬼^{サカシテ}登^{ケリ}降^{クシ}・燈^{セウ}爛^ル・殊^{アナル}形^{カタ}・詭^{アヒチ}制^シ・每^{シツク}各^{ヘリ}・異^ミ觀^ミ・垂^シ

199

首^{イニ}步^{ソル}・輦^{レニ}・唯^タ所^{アリ}息^{ソク}・宴^{アヒ}・後^{コウ}宮^{キウ}・則^ニ有^ユ・掖^エ・庭^{テイ}・楸^{シュ}

200

宮^{ミヤ}・歡^{クワン}・曾^{ソウ}城^{セイ}・安^ア・處^チ・常^{ジョウ}・寧^{ネイ}・意^イ

201

越^エ・蘭^{ラン}・林^{リン}・蕙^{クヱ}心^{シン}・草^{ソウ}・鴛^{ユヰ}鴦^ヤ・飛^ヒ

202

翔^{セウ}・子^シ・列^リ・日^ニ陽^{ヤウ}・特^{トク}・盛^{セイ}・隆^{リウ}・乎^コ・孝^{コウ}・誠^{セイ}・屋^ヤ・不^フ・呈^{テイ}

73 (三ノ三四三)

「ヤウ」陽堂

「蕙」心朱

「鴛」鴦朱

「意」可休説

「楸」同呂反ハス

「以赤父」朱

「ト」リは「ラント」の誤か

203 材カキハ牆カキハ不露アラ形カクシ衰ツムシ以シ藻サウ繡シウ絡ワズ以セリ論ム連ヒラ隨フイ

204

金カネ釘カネ銜カネ璧ヒラ是シ為カ列レ

205

耀カウ含カウ英カウ懸カウ於カウ乘カウ棘カウ夜カウ

206

玄クワン墀クワン金カネ砌キ玉タマ階カ殿テン連レン磧セキ

207

碱ケン絲シ綴ズイ琳リン珉ミン青セイ瑩エイ珊サン瑚コ碧ヒキ樹ジュ周シュウ阿ア而ニ

208

生セイ紅コウ羅ラ綺キ組ク續ゾク紛フン精セイ曜ヨウ華カ燭ソク俯フ

(「柳」經「紙」十五行欠)

24 (三ノヨク)

*印の合符は皇

*「カ」及「朱

*「カ」及「朱

*「カ」及「朱

*「カ」及「朱

231

激日景而納光神

*印の合符は墨

232

明

殊遠復蹇而上路輒雲雨

233

於太半虹霓迴帶於林梢雖輕迅而

234

於

而不能階攀井幹而未

235

拾櫺檻而却倚若

236

以共度迴途

237

而下既微懼於登望降周流以傍

76 (三ノ三46)

*平声点の(墨)の上
に朱で「」を加えて濁点符とせり

238 白雲ト多クホル... 而シラトアキラ 出シラ 若ミテ 遊チ 目ハ 於チ 天ハ 表ハ 似ハ 無カ 陽カ

239 而シラ 上ハ 出シ 若ミテ 遊チ 目ハ 於チ 天ハ 表ハ 似ハ 無カ

240 依ヨ 少シ 洋ヤウ 之ノ 前マヘ 唐タウ 中チュウ 而シ 後ノチ 太タイ 液エキ 覽ミテ 滄サウ 海カイ

241 之ノ 湯ユ 之ノ 揚ヤウ 濤トウ 波ハ 於チ 碣カク 石セキ 激ソシ 神シ 岳カク 之ノ 將シヤウ

242 濼ノ 洲シュ 与ヨ 方ハウ 壺フ 蓬フウ 萊ライ 起キ 乎コ 中チュウ 央ヤウ 於チ

243 是シ 靈リウ 草ソウ 之ノ 榮エイ 神シ 木キ 叢ソウ 生シヤウ 巖イワン 陵リウ 酒シュ 碎スイ 金キン

244 石シヤク 之ノ 際サイ 元ゲン 弘コウ 掌シヤウ 與ヨ 承シヤウ 露ロ 擢シヤウ 雙シヤウ

*印の合符は墨堂

245 笠^シ軒^ル瑛^イ瑤^イ之^ノ混^マ濁^ク鮮^シ顛^カ氣^キ之^ノ清^シ英^イ駿^セ

*印の合符は墨

246 文^ブ成^セ之^ノ不^フ下^カ誕^ト馳^シ五^イ利^リ之^ノ所^ノ刑^ノ度^ノ松^ノ高^ク

247 負^ル手^ノ存^ト足^ニ子^イ斯^コ遊^ニ實^ニ列^ト仙^ト之^ノ收^ト

248 血^ケ娛^ル遊^ル之^ノ壯^ク

249 觀^ク有^ル以^テ威^ニ以^テ威^ニ騎^ル子^ノ朱^ノ

250 耀^ク威^ニ而^シ講^ス武^ノ事^ヲ命^ス荆^ノ州^ヲ使^シ起^ス鳥^ノ詔^ス梁^ノ

251 野^ノ而^シ驅^ル獸^ヲ毛^ノ群^ヲ内^ニ闕^ス飛^ル羽^ヲ上^ニ覆^フ接^ス翼^ヲ

*「羽族」朱

*平声点「〇」(墨)の上
に朱で「〇」を加えて
濁音符とせり

*「ラトシ」の声
は朱

*「騎」字朱

252 集禁林而七聚水衡虞人修其

253 營表種別群分部曲有暑罍陶連統

254 籠山絡野列卒周匝星羅雲布於是

255 乘鸞輿備法駕師群臣披飛廉入莞

256 遂統鄴部歷上蘭子師發遂

257 駭彈震燿雷特電激草木深地

258 山川冬覆蹀躞其寸二三乃物怒而

*印の合符は星

*「浮」朱

*「罍」朱

ニ云フニ一

サラアニ一

*「曲」互ニ船ニ朱

*「舒灼」及ニ朱

*「舟」又ニ朱

79 (三ノ四九)

少息シホク尔乃期門ニノキドモ 伏ヒ飛ヒ列ツ又マタ鑽アツ鉞ツ要ヨ日ヒ

*印の合符は墨

260 足ツラ蹤ニシラ鳥ハ驚シヨロ觸ツレ絲アミ獸ノ馭ヲ值アヒ鋒ハ機キ不ス虛ム拮ハナタ

261 弦ヒ不ニ再ニ控ヒ矢ヤ不ハ單ハ箏ハ中ナ必ナ疊カサ雙ツラ颯フキ飛カサ

262 紛ヒ増ヒ敷ヒ目メ風フ毛モ雨アメ五イ灑ソ野ノ蔽カ天ラ

(「平原」S「此躬虎」の二行欠)

穉コ寡カ虎コ

265 生ヒ舞マ空カ狂キヤウ兕シ觸ツ麋メ許コ少シ施シ巧カウ秦セ成セ力リキ折セ

協キョウ交コウ決ケツ九ク術ジュツ又マタ **

**「協」交決九術又

266 狹ミトイ 椅イ 標ヒラ 撥ハ 抗ケン 猛マウ 噬シ 脫ダツ 角カク 挫サツ 脰シユ 徒ト 博ハク 獨ドク 斂ケン

267 挾ハセテ 師シ 勑シ 拖ヒキ 能ノウ 螭リウ 曳ヒキ 犀シ 敎キョウ 曳ヒキ 豪コウ 燕エン 超チウ 詞ジ

268 超カラス 越イ 峻シ 嗟キシ 屢フメテ 斲セ 巖眼カテ 鉅キヨ 石セキ 潰クニクニ 松シユ 栢ク 外タテマ 取ク

269 木キ 無ニテ 餘コリ 禽キ 獸シウ 跡アト 羨シ 於ニ 是コノ 天テン 子シ

270 乃ナリ 有アリ 肩カミ 玉タマ 之ノ 館カン 歷レキ 長チヤウ 揚ヤウ 之ノ 榭シャ 覽ラン 山サン 川セン

271 之ノ 體タイ 勢セイ 觀カン 三サン 軍クン 之ノ 教キョウ 獲ハク 原ゲン 野ヤ 蕭シウ 條テウ 條テウ 目メ

272 極キョク 四シ 裔エ 禽トリ 相カサナリ 鎮チン 壓アツシ 獸シモノ 相ヒ 枕シヤク 籍セキ 然シテ 後ノチ 收シユ

*印の合符は墨

朱 *知申シ

朱 *象イ

朱 *居日及

朱 *為申及

朱 *為申及

之禁及 (一三ノ五ノ)

273

會衆論功賜昨陳輕騎以行包騰

會衆論功賜昨陳輕騎以行包騰

*印の合符付墨壺
朱
*「五角及江」ヒ

274

酒車以斟酌割鮮野食舉烽命爵饗醕

275

賜果勞逸膺大路鳴鑿容与徘徊集輅

輅
*「環鳥」朱
*「五角及江」ヒ

276

乎豫樟之宇臨乎昆明之池左牽牛

豫樟

277

女似雲漢之無崖茂樹蔭蔚

278

被隄蘭道發色畢猗若

279

錦布繡燭耀乎其陂鳥則玄鶴白路

287

極樂キョクラク 遂風舉雲スエフウキョウウン 搖浮遊溥覽前ウカエテフウブユウフンケン 垂泰シウタイ

*印の合符は墨

288

嶺後越九レイニシラハ 媛東薄河華西キウノノ 涉歧シヤキ 疾シヤク

*「子公及」朱
*「子化及」朱
*「西」朱

館クワン 289

館所クワンショ 歷百有餘レキヒヤクユウ 區行所朝夕クウカウショチヨウセキ 儲不改チヨウカク

巨父及 *「巨父及」朱

290

供礼上下ケイレイジョウゲ 而接山川ニシテセツサンケン 究体祐之所用クウテウコノシヨウ

*「一謂天地」

291

采游童之サイユウドウノ 謹謠第從臣之嘉頌キンヤウダイジュウシノカシヨウ 于斯コノ

292

相望邑々ソシニイフクトシテ 相屬國藉ソシニイフクトシテ 十世ジュウセイ

293

基家永百年之業キカエトシヒトシノノ 士食舊德シキウキウタク

決如字為卷字非也 *「一謂」

294

氏農服先疇之畝商修揆世之所

*印の合符は墨

295

繼高工用高曾之規矩祭乎隱各得

*「散」朱
*「伊」

296

其所若臣者徒觀迹於舊墟聞之乎

*「去月」朱

297

故老十分而未得其一端故不能徧

*「扶分」又如
字「朱」

298

299

東都賦一首

班孟堅

一先

*「朱」

以下東都賦の本文
がづく。(朱一先)

*「一先」朱